

市区町村名	愛媛県宇和島市	担当部署	産業経済部商工観光課
		電話番号	0895-49-7023
		所属メール	shoko@city.uwajima.lg.jp

1 取組事例名

宇和島城での特別体験型 NFT の販売を通じた官民協業事例

2 取組期間

令和5年度～（継続中）

3 取組概要

NFT（非代替性トークン）は暗号資産（仮想通貨）などと同様にブロックチェーン上で発行および取引される技術であり、この技術を活かして宇和島城での特別体験 NFT を販売し、購入者（保有者）限定の特別体験特典を提供する新しい取組み。

宇和島市と KDDI 社が連携し、地域共創を目指して官民協働でプロジェクトを推進した。

NFTとは①

関係者限り

5

非代替性トークンの略。デジタルデータ等に**唯一性**のあるモノと証明するためのしるし。

Non – Fungible - Token

替えが効かない

“しるし”・“証拠”

これまでのデジタルデータ
コピー・削除・書き換え等が自由に行える

価値の証明が困難

NFT
「過去の全ての取引記録」を残すことができるため、唯一無二の証明が出来る

資産価値が付けることが可能に

イメージ：サイン入りユニフォーム



- 公式ユニフォームはお店でどこでも買う事ができるが、「**直筆のサイン付きユニフォーム**」は、どこでも売っている商品ではなくなり価値が上がる。
- このサインがNFTにあたり、選手がサインすることで唯一性を証明し、ユニフォームの価値を上げている。

出典：KDDI 株式会社

体験型NFTと電子チケットの違い（ユーザーメリット）

	体験型NFT	電子チケット
独自の体験	ユーザーはブロックチェーン上で管理された特典やNFTホルダーだけに送られる特別なコンテンツを楽しむことができる。	電子チケットをデータとして持っているだけでは、特別な体験などをデータ管理し、付与することができない。 ※チケットに付与される体験は購入時に確定したもの、もしくはアナログな管理。
透明性と自由な取引	ブロックチェーン上で行われる取引の透明性のおかげで、2次流通や譲渡など自由な取引ができる。（逆に譲渡不可とすることも可能）	多くは転売が禁止され、自由な取引を行うことができない。 ※同じサイト内のみで可など限定されている
コミュニティやエンゲージメント	NFTを介してコミュニティが形成され、ファンのエンゲージメントを高めることができる。	電子チケットを介したコミュニティをユーザーが独自に形成することはできない。（X（旧：Twitterなど別サービスを活用する必要がある））
クリエイターや主催への還元	スマートコントラクトを設定する事でクリエイター（主催者）などに還元する仕組みを組み込める。（≒自由な取引）	還元の仕組みを設定することはできない。

出典：KDDI 株式会社

全国的にも珍しい取組み

お城にまつわるリアル来訪特典付き NFT の販売は全国的に見ても珍しい取組みといえる。

近しいテーマの過去事例が他自治体であり、全国初という表現は控えてるが、お城×体験NFTという点で、しっかり体験プランまで立てた事例は確認できておらず、全国的に見ても大変珍しい取組みとなっている。

近しいテーマ事例

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000074.000012092.html>

愛知県犬山市と株式会社バケットが地域活性化を目的とした協定を締結。国宝・犬山城を起点に、NFT を活用した「犬山市デジタル城下町プロジェクト」を展開へ

5 取組の具体的内容

取組み概要

市で取り組んだ概要としては、①マス向け（お城ファン）に刺さりやすいオリジナル企画の NFT を一般販売し、宇和島城関連のリアル来訪特典を付与することで、来訪者の増加を目指すこと。②NFT 界限で人気のある NFT アート“MetaSamurai”とコラボした宇和島独自アートを作成、一般販売し、リアル来訪特典を付与するといったマス向け（お城ファン）と NFT 界限への2面アプローチを実施し、宇和島城の認知を高めることを目指した。

NFT の販売者

大きく分けて2社の NFT 企画で販売。

- ①KDDI 社はαUで販売する体験を軸とした NFT を扱い販売。
- ②Isec 社はMetaSamurai とコラボした NFT を以下の2パターンで販売。
 1. EC サイトにて先行販売 50 個
 2. Mint サイトにて第2弾販売 147 個 ※暗号資産に限る

宇和島城での特別体験型 NFTを販売中

NFTとは「非代替性トークン」のことで暗号資産（仮想通貨）等と同様にブロックチェーン上で発行および取引される仕組みですが、この技術を活かして購入者（保有者）限定の特典を提供しようとする新しい試みです。



概要

- **販売期間**
2024年3月8日（金）～
- **販売元**
KDDI株式会社
- **販売価格**
1,980円～100,000円※体験内容により価格が異なる6商品を用意

- **販売場所**
オンライン（NFTマーケットプレイス「aU market」にて）
- **主な体験メニュー**
 - ・ 特別甲冑を着用してお城まつりに参加
 - ・ 宇和島城の夜間開城
 - ・ 大名庭園「天敵園（てんしやえん）」での茶会
 - ・ お城インスタグラマーKAORIさんとの宇和島城ツアー

①お城ファンに刺さりやすいオリジナル企画のNFTを一般販売

販売NFT一覧

<p>【夜泊付きお城まつり】先斗甲冑でお祭り参加・夜間開城＆茶会 ¥100,000 (税込)</p>	<p>【夜泊付きお城まつり】政宗甲冑でお祭り参加・夜間開城＆茶会 ¥100,000 (税込)</p>	<p>【夜の宇和島城にガイド付きで】夜間開城・茶会・甲冑着付け2 ¥20,980 (税込)</p>
<p>【お城インスタグラマーKAORIさんと現地ツアー】デジタルサイン・学習員・KAORIさんによる事前解説・座談会付1 ¥20,980 (税込)</p>	<p>【お城インスタグラマーKAORIさんとオンラインツアー】学習員・KAORIさんによる事前解説付4 ¥1,980 (税込)</p>	<p>【甲冑を着て気分気分】甲冑着付け（お城開城レベルティ付）1 ¥2,980 (税込)</p>

MetasamuraiとのコラボNFTも

「MetaSamurai」は株式会社1SECが展開するデジタルファッションレーベル「1BLOCK」が開発・運営するNFTプロジェクト。今回宇和島市とのコラボコレクションを発売します。



詳細は
特設サイトから



②NFT 界限で人気のあるアーティストとコラボした宇和島独自アートを作成、一般販売

詳細は公式サイトから



問い合わせ

* 市役所7階 商工観光課 観光係 橋山（すぎやま）
電話番号：0895-49-7023（直通）
e-mail：shoko@city.uwajima.lg.jp

② MetaSamurai ラインナップ例

組み合わせイメージ



レアデザイン



出典：株式会社 1sec、KDDI 株式会社

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

リアル来訪特典

リアル来訪特典は普段経験できない特別な体験を提供することを目指し、市文化・スポーツ課、宇和島市観光物産協会とも連携し、特典を検討した。特に、職員の負担増を避けるため、既存の取組みをベースとして選定した点を工夫したポイントとして挙げておきたい。

●特別甲冑を着用してお城まつりに参加

市の一大イベントとして行われる「伊達な宇和島お城まつり」。その中でも、初代藩主伊達秀宗公とその家臣団が、仙台から宇和島に入部した様子を再現する「伊達 57 騎大武者行列」において、特別甲冑にて参加する権利を特典として設定した。特別甲冑とは豊臣秀吉モデルの甲冑と伊達政宗モデルの甲冑であり、前者は藩主秀宗が豊臣秀吉の養子となり京都で過ごした縁があり、後者は言わずと知れた実の父である東北の雄であり、それぞれストーリー性も有した特別甲冑であり、宇和島をより訴求することを狙った。この二つの甲冑は普段は宇和島城に展示するのみで、近年活用されていなかったことから、イベント開催に合わせて特別体験として設定することで、職員の大きな負荷が少ないメリットがあり、所管する市文化・スポーツ課の許可により特別体験の提供が可能となった。

既存のイベント側にとっても、特別感を演出することができ、相乗効果も期待できる特典となった。

●夜間開城ガイド付きツアー

宇和島城は通常夜 18:00 に閉場するため、夜間に入城することはできない。過去お月見会などで限定的に行ったイベントを焼き直し、その特別感と学芸員によるガイドを付加し特典として設定し、所管する市文化・スポーツ課の許可により特別体験の提供が可能となった。

●お城インスタグラマーの現地ツアー参加権

全国的に知名度の高いお城インスタグラマーによる宇和島城現地ツアーを特典として設定した。こちらは、KDDI 社のコミュニティーを活かした手配により提供が可能となった。

●その他

その他、大名庭園として名高い天赦園でのお茶会や甲冑着付け体験など、普段は体験できない特典を設定した。

体験内容\NFT商品 (上記参照)	A1/A2	B	C	D	E	MetaSamurai購入者 左記BまたはEをランダムで付与	
							
特別甲冑(秀吉/政宗モデル)を着用してお城まつり参加	○	—	—	—	—	—	—
ホテル宿泊権(JRホテルクレメント宇和島)	○	—	—	—	—	—	—
夜間開城(ガイド付きツアー)	○	○	—	—	—	○	—
天赦園での茶会(お茶・お菓子付き)	○	○	—	—	—	○	—
甲冑着付け体験(大人用・子ども用選択可能)	—	○	—	—	○	○	○
KAORIさん特典	KAORIさん+学芸員による宇和島城の事前解説オンライン配信	—	—	○	○	—	—
	現地ツアー参加(宇和島城イラスト入りバッグ付)	—	—	○	—	—	—
	現地ツアー後オンライン座談会参加権	—	—	○	○	—	—
	現地ツアーのアーカイブ動画視聴権	—	—	○	—	—	—
	デジタルサインNFT	—	—	○	—	—	—
お城関連ノベルティの進呈	○	○	—	—	○	○	○
金額	¥100,000	¥36,980	¥24,980	¥1,980	¥2,980	コラボパーツ ¥25,000 コラボ完成体 ¥30,000	

出典：KDDI 株式会社

NFT の価格設定

KDDI 社が販売するそれぞれの NFT (A~E) は付与される特典ごとに値段が異なる。特別甲冑体験を含む A1/A2 については、100,000 円といった具合だ。

この値段の設定については、含まれる体験の原価を反映させている。つまり、ツアーに必要な経費は全て NFT 代金に転嫁する形で値段設定を行った。うまく販売が軌道に乗れば継続性を担保できるが、一方でユーザーに対して、値ごろ感がかけ離れてしまうと、販売時に見向きもされないこととなってしまうため、その点については、事前にアンケートを実施し、価格設定を行った。

◆ポイント

- ・既存のイベントに特別枠の参加権を付与
- ・既存イベント側の特別感向上にも貢献
- ・夜間開城やお茶会など既存コンテンツを活用し、新たな労務負荷を抑制。
- ・ツアーに必要な経費は全て NFT 代金に転嫁する形で値段設定を実施。
- ・アンケートも取りながら適正な価格感を調査。

7 取組の効果・費用

プロモーションと効果

具体的に行ったプロモーションとしては企画初期から攻城団というお城好きユーザー（コアターゲット）が集う媒体へアプローチし、メルマガやHPでの従来の手法に加え、YouTubeでのLIVE配信による訴求という新しい試みを行った。

LIVE配信で企画背景や魅力を発信し視聴者の熱量を高め、同時にNFT購入方法も視聴者とコミュニケーションを取りながら解説をすることで購入の心理的ハードルを下げることに一定の成果を得られた。

取組に要した費用

KDDI社は今回のNFTの販売者となり、来訪特典に係る経費を全額負担した。KDDI社は来訪特典を調達する(株)うわじま産業振興公社と契約を取り交わし、事業を進めた。

委託料 1,806,556円

なお、KDDI社のNFTの売上額はKDDI社の負担額と相殺し、差額は(株)うわじま産業振興公社に入金するスキームとした。

効果額

令和6年5月末時点における販売数は以下の通り。

●KDDI販売分＝特別体験数

B体験 宇和島城夜間開城：2点

C体験 お城インスタグラマー「KAORI」さんリアルツアー：10点

D体験 お城インスタグラマー「KAORI」さんオンラインツアー：3点

売上合計 329,700円

●1sec販売分

MetaSamurai 1次2次合わせて55点

売上合計 非開示

特別体験数

B体験 宇和島城夜間開城：1点

E体験 甲冑着付け体験：33点

※1sec社販売に付与するリアル来訪特典についてもKDDI社が負担。

体験付与方法

- MetaSamurai 購入者（先行販売）：2つセット購入した方から抽選で1名様に付与。
- MetaSamurai 購入者（二次販売）：予約フォームURLから、特典の体験希望を申請し、希望者の中から、購入数に応じて特典を付与。

◎合計

B体験 宇和島城夜間開城：3点

C体験 お城インスタグラマー「KAORI」さんリアルツアー：10点

D体験 お城インスタグラマー「KAORI」さんオンラインツアー：3点

E体験 甲冑着付け体験：33点

体験内容\NFT商品 (上記参照)	A1/A2	B	C	D	E	MetaSamurai購入者 左記またはEをランダムで付与
特別甲冑(秀吉/政宗モデル)を着用してお城まつり参加	○	—	—	—	—	—
ホテル宿泊権(IRホテルクLEMENT宇和島)	○	—	—	—	—	—
夜間開城(ガイド付きツアー)	○	○	—	—	—	○
天敵園での茶会(お茶・お菓子付き)	○	○	—	—	—	○
甲冑着付け体験(大人用・子ども用選択可能)	—	○	—	—	○	○
KAORIさん特典 KAORIさん+字芸員による宇和島城の事前解説オンライン配信	—	—	○	○	—	—
現地ツアー参加(宇和島城イラスト入りバッグ付)	—	—	○	—	—	—
現地ツアー後オンライン座談会参加権	—	—	○	○	—	—
現地ツアーのアーカイブ動画視聴権	—	—	○	—	—	—
デジタルサインNFT	—	—	○	—	—	—
お城関連ノベルティの進呈	○	○	—	—	○	○
金額	¥100,000	¥36,980	¥24,980	¥1,980	¥2,980	コラボパーツ ¥25,000 コラボ完成体 ¥30,000

販売数	0点	2点	10点	3点	<55点>
特別体験数	0点	2点	10点	3点	1点 33点

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

基本的な役割分担

KDDI 社

企画全般のマネジメント

市・宇和島市産業振興公社

NFT デザインチェック

関連画像の手配・提供

特典の提供に係る企画、実行

情報発信

NFT に対する理解

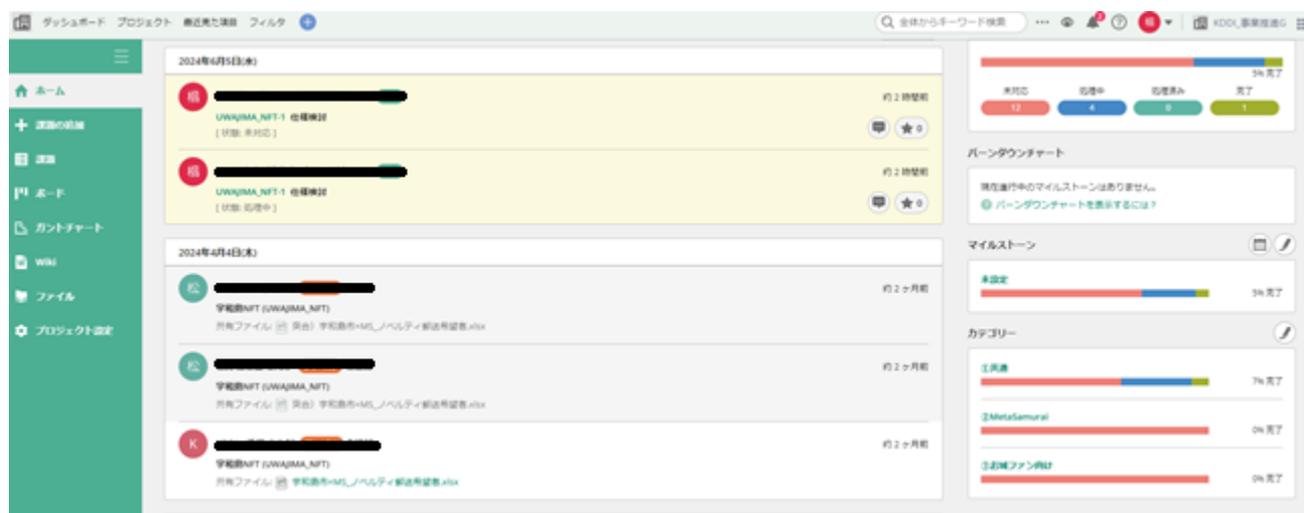
NFT 企画を進めるうえで難しかったのは、新しい取組みにはつきものではあるが、「NFT とは何か」、という点から説明が必要であった点が挙げられるが、この点に関しては、実証実験の段階であり、市にまとまった経費の支出が必要なかったことから、宇和島城への来訪増加の取組みの手段として「NFT」という技術を扱うということで理解が得られた。

なお、いずれにしても、この「NFT を市場で販売する」といった仕組みの部分は民間企業の知見、ノウハウに頼らざるを得ないため、そこは民間との分業という整理とし、市としては、来訪特典に要する事務や経費の支出という役割分担を明確にすることで、克服することができた。

協業するための環境整備

民間事業者と協業する上で、さらに遠隔地でのプロジェクトを円滑に進めるには共通のツールの使用が求められた。まずタスク管理として「バックログ」というツールの使用提案があり、ファイルの共有や事業進捗状況の管理をインターネット上で行うツールの使用により、関係者間での情報共有の下地が整った。

<バックログ>



次に、オンライン会議を行う環境は既に有していたものの、リモート会議は遠隔地での会議が可能となる点において、優れているが、メンバーが一堂に会する日を頻繁に設定することは難しい。リモート会議をしようにも、実際には会議室を押さえないとできないのが、市の現状である。

また、メールでは同報利用は可能であるが、基本的には1対1のやり取りとなってしまう。そのような中、LGWAN・インターネット双方からやり取りが可能なビジネスチャットツールを使用することで、日々の打ち合わせや連絡事項をスムーズに進める基盤を整えることができた。

<ロゴチャット>



なお、職場のパソコンがノートパソコンとなり、R5 年度から完全無線化されていることも、大きな要因であった。資料を紙に打ち出し、大量の資料を会議室に持込み、また資料を印刷しファイリングするといった手間が無くなった点は、事務効率化に大きく寄与している。

特典の体験方法

NFT 購入後、購入者から特典の体験申し込みを受け付けるための、予約フォームの作成が必要であり、それも購入種別ごとの予約フォームの作成であったり、申し込み状況の管理などに手間とマンパワーを要した。

また、実体験時において、雨天の場合は体験が中止となるものもあるため、購入者に対する注意喚起をあらかじめ行うなどの配慮を要した。

9 今後の予定・構想

今回市における成果の検証等が終わっていない段階であるため、今後の展開や、将来的な構想への言及は難しいところであるが、愛媛県内には宇和島城の他、現存天守松山城、復元天守今治城、大洲城の4城が存在しており、このNFT企画の来訪特典を工夫することで、4城周遊といった県内横展開や、全国の現存12天守や100名城など、お城をフックとした全国横展開も可能性としては考えられるところ。

まずは先行者として、十分な成果検証を行い、今後に向けKDDI社とも十分な意見交換を行っていきたい。

10 他団体へのアドバイス

特別体験 NFT について

NFT の仕組みを取り入れた狙いとしては、購入を契機に、地域への来訪を促し、地域のファンとなるきっかけを提供したいと考えたためである。

コピーが可能なデジタルな世界において、NFT を利用することで唯一無二である事を証明できるようになった。デジタルアートをはじめ、ゲーム、音楽、スポーツ、今回のようなコト体験など、様々な分野で使われ始めており、他団体においても、このような取組みが、新しい地域共生のチャンスを生み出す可能性を持っていることについて、認識いただければ幸いである。

官民協業について

現在の地方行政は、慢性的な人材不足に悩まされ、通常業務をこなすことで精いっぱい、新しい企画やアイデアが出にくい環境に悩まされている方もいらっしゃるのではないかと。

かくいう、当市においても、同様の課題を抱えているところ。

しかしながら、今回のように、民間の知恵やノウハウをお借りし、同じ課題に同じ目線で向き合っていくスタイルをとることができれば、より幅広く有機的な仕事ができるのではないかと思料する。

以前参加した研修では、「その市の担当の限界＝その市の限界」といった警告が打ち鳴らされていた。民間との協業は行政サービスを維持する上でも、発展させる上でも重要な視点であると考えている。

それぞれの団体が抱える課題は違うと思うが、今回宇和島においても様々な課題を抱える中、宇和島城への来訪増加という一つの切り口をテーマに定めたにすぎない。

大切なことは課題に対して、横のつながり、組織を超えたつながりで向き合っていくかではないだろうか。

1 1 取組について記載したホームページ

[宇和島市] 宇和島市の関係人口創出を目指す NFT 企画第 1 弾を開始

<https://www.city.uwajima.ehime.jp/soshiki/22/oshironft.html>

[αU]宇和島城 特別体験コレクション

https://alpha-u.io/article/uwajima_nft

[αU]宇和島城 特別体験コレクション マーケット

<https://market.alpha-u.io/collections/uwajima>

[1sec] 1SEC × 宇和島市 × KDDI 地方創生 web3 プロジェクトの実証を開始

<https://www.uwajima-metasamurai.world/>

[youtube 攻城団テレビ] 【LIVE】この団長とはじめる特別体験型 NFT 購入講座 ～宇和島城の NFT ってどうやって買うの？～

<https://www.youtube.com/watch?v=UzSF2MahjMQ&t=1180s>